

## <ひばり福祉会後援会 様>

上映日:2026年2月20日(金) 場所:市民活動センタープラッツ バルトホール(東京都府中市)



400名以上が来場し大盛況

### 障害への理解を深める機会に。内容も素晴らしくお客様に喜んでいただける映画

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

来年度、法人設立25周年に先立ち、プレイベントとしてイベントを企画。映画会上映が決まり、障害をテーマにした映画を実行委員が持ち寄り、デフリンピックの直後ということもあり、聴覚障害をテーマにした本作が選ばれました。

身体障害者通所施設としてスタートした当法人は、現在まであまり聴覚障害の方々との係わりが少なかったため、理解を深める良い機会だと思い開催することになりました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

後援会役員、法人施設職員です。

●後援などをどのように依頼し、どういった協力を得られましたか？

府中市と府中市社会福祉協議会で。府中市には後援依頼書を提出し、市内施設のチラシ、ポスターの掲示、広報誌への掲載などのご協力をいただきました。

その他、府中市登録手話通訳者の会、府中市聴覚障害者協会、府中市作業所等連絡協議会にご協力をいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

後援会より借り入れをし(会場費チケットポスター等の印刷代等)、開催後に売り上げから返済します。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

実績に基づいた販売先等をリストアップし、実行委員、法人内施設職員等に担当先を割り振り、宣伝と販売を行いました。また、対面で趣旨や映画の内容を伝え、地道に販売をしました。

●上映会当日の様子や反響を教えてください。

2部制で上映し、入場者は午後の部222名、夜間の部179名でした。観に来ていただいた方には、楽しんでいただけたと感想をいただきました。

●今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がりましたか。

府中市の障害者イベントで聴覚障害者協会会長とお話する機会があり、市内手話サークル等への告知など手話通訳の手配団体等も紹介していただくなど協力していただきました。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

コロナ過の後の久しぶりのイベント開催(コロナ過以前は毎年開催していた)となりました。職員等の顔ぶれや仕事の価値観も大きく変わったため、イベント開催の意義を理解してもらうのに時間がかかりましたが、現在はイベントが無事に終わった安堵感を実行委員一同感じているところです。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

映画の内容は素晴らしく、お客様にも喜んでいただける映画だと思います。会場費や経費等、協賛金募って開催できるとよいかと思います。